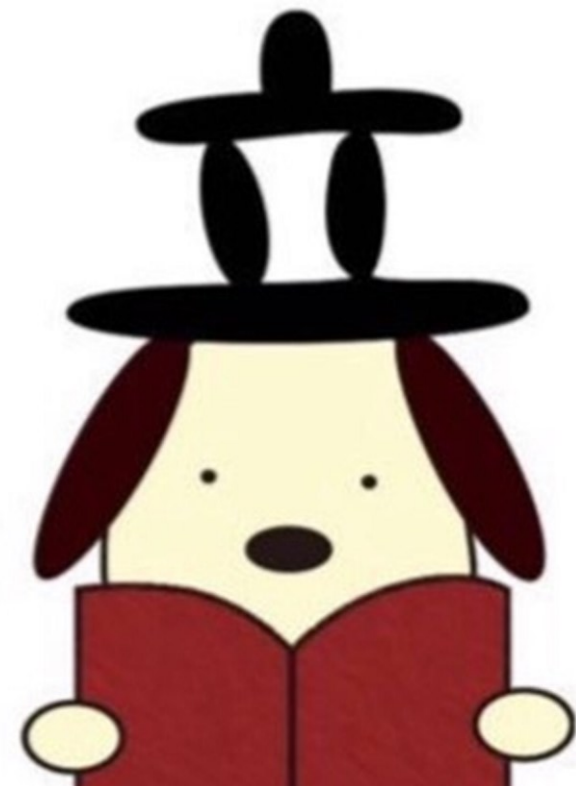


研究活動報告2023

# 立命館大学 図書館研究会 (りっとけん)



りっと犬

# 立命館大学図書館研究会について

私たちは立命館大学図書館研究会、通称“りっとけん”です！

りっとけんは文学部の自主ゼミナールとして、図書館就活の応援を目的に立ち上げられました。活動は週に2回、立命館大学衣笠キャンパスの司書課程共同研究室で行っています。

通常活動として、司書試験や情報技術者検定の勉強会や出題された主題に合わせて分類番号を当てるりっとけんオリジナルゲーム「分類番号かるた」などを行っています。また特別活動として、図書館見学会や図書館総合展への出展、オープンキャンパスでの企画実施などを行っています。



# 活動紹介①

## 〈図書館総合展〉

2022年テーマ～大学図書館とマンガ～

大学図書館におけるマンガの取り扱いを考察

- ◆ 全国の私立大学図書館のうち、立命館大学図書館を含む図書館費上位8校を対象に

- ①マンガの収集基準
- ②所蔵されているマンガ
- ③所蔵されている資料の特徴
- ④分館、キャンパス、学部の違いに伴う資料の特徴

の計4点を比較・考察

- ◆ 立命館大学図書館職員の方にマンガの取り扱いについての質問を行う

2023年テーマ～小説作品に描かれる図書館～

# 活動紹介②

## 〈オープンキャンパス企画〉

8月6日に開催された立命館大学オープンキャンパスにおいて「大学図書館を楽しもう！」と題した企画を実施

高校生の参加者に

- ◆ 図書館の定義
- ◆ 衣笠という地名
- ◆ 中川小十郎について
- ◆ 葛飾北斎の浮世絵

をレファレンス質問として提示し、大学図書館の書架から資料を調査してもらい、得られた情報を共有し合う

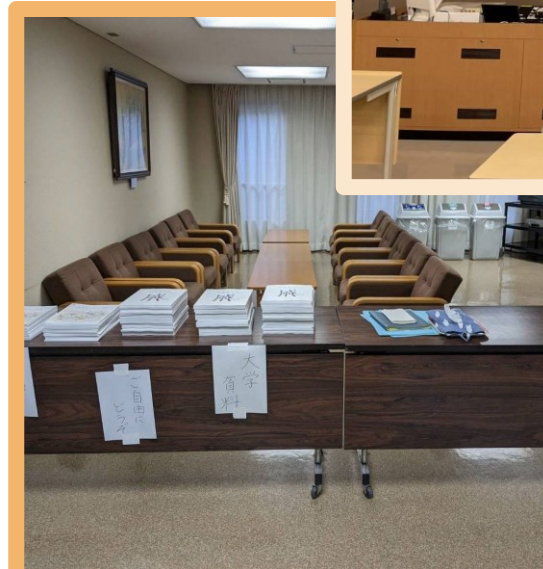


# 活動紹介③

## 〈第75回近畿地区図書館情報学会〉

9月8日に本学（立命館大学）衣笠キャンパスにて開催された第75回近畿地区図書館情報学会にて、活動報告と運営補佐を行う

- ◆りっとけんの活動報告として、組織概要と図書館総合展に提出する研究の進捗を発表
- ◆会場設営、受付、発表補佐などの運営補佐を担う
- ◆基調講演を中心に図書館情報学における各分野に関して、先生方の貴重なお話をお伺いしました！



研究テーマ 2023

---

# 図書館関連要素を題材にした 小説作品収集と分析



# 研究報告2023 目次

---

経緯

目的

方法

調査

- 1、作品収集—
  - ① 収集作品基準
  - ② 作品収集方法
  - ③ 作品収集結果
- 2、収集作品リストを用いた分析・考察1
  - ① 出版年別作品数
  - ② キーワード別利用対象書数
- 3、収集作品リストを用いた分析・考察2
  - ① 内容・使用サイト
  - ② 事前処理
  - ③ 分析結果・考察

課題

振り返り

参考文献一覧

謝辞

# 経緯

- 1, メディア作品に描かれる図書館イメージへの注目
  - ・映画 『図書館戦争』（2013）
  - 『天使のいる図書館』（2017）
  - 『耳をすませば』（1995）

⇒図書館関連施設を題材としたフィクション作品に  
おける特徴に対する興味・関心

- 2, 専攻（日本語情報学）における学び
  - 日本語コーパスを活用した授業
  - (cf. 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』)

⇒語彙に注目したデータの収集と分析の実践



# 目的

- 1、図書館や図書館関連要素を扱う作品を収集し、リストの作成・整理を行う
- 2、収集した作品のリストを分析し、図書館や図書館関連要素を扱う作品の特徴やその背景について考察を加える

# 方法



# 研究方法

---

## 1、図書館関連要素が題材として描かれる小説作品の収集

### 【具体策】

国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）を活用し、タイトルに

- ・「図書館」
- ・「図書室」
- ・「司書」
- ・「ライブラリー」

の4つキーワードが含まれる作品を収集し、作品リストを作成する。

# 研究方法

---

## 2、作品情報の整理・考察

1で収集した作品リストを活用し、

①収集情報別

②タイトル・概要（あらすじ）における語句やその共起

の2点に注目し、調査・分析・考察を行う。



# 調査

## 作品収集



# 1, 作品収集

---

## ① 作品収集基準

- ① タイトルに「図書館」「図書室」「司書」「ライブラリー」のいずれかのキーワードを含む

※作品内容として図書館関連要素を含まない作品を一部含める

- ② 小説作品に限定（随筆・エッセイなどは含めない）
- ③ 2002～2021年の20年間に出版された（初出）作品に限定
- ④ 著者は日本人に限定（翻訳書は含めない）
- ⑤ 利用対象者は、一般書・児童書

⇒ これらの基準をもとに、国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）から作品を収集

## ② 作品収集方法


 国立国会図書館サーチ

簡易検索

詳細検索

障害者向け資料検索

クリア

タイトル  著者・编者  出版社  出版年  ~   
 件名  分類記号  ISBN/ISSN  出版地   
 翻訳検索

データベース  国立国会図書館オンライン  公共図書館蔵書  国立国会図書館オンライン(雑誌記事索引)  NDLデジタルコレクション  その他

資料種別  本  記事・論文  新聞  児童書  レファレンス情報  デジタル資料  その他  立法情報

所蔵館  国立国会図書館  他機関 連携先  すべての連携先を検索する

【図1】：作品収集検索画面（国立国会図書館「国立国会図書館サーチ-詳細検索」より）

- ① ⇒ タイトル部分に4つのキーワードを入力
- ② ⇒ 分類記号913.6を設定後、検索結果一覧から抽出
- ③ ⇒ 出版年：2002～2021と入力
- ④ ⇒ 出版地：日本と入力
- ⑤ ⇒ 資料種別：本と児童書に設定

### ③ 作品収集結果

	収集条件該当数	
図書館	99 作品	
図書室	27 作品	
司書	18 作品	
ライブラリー	9 作品	収集総数：153 作品

※ シリーズは一作目のみを代表として収集

【表 1】 キーワード別収集作品数



1	著者	出版年	年代	該当キーワード	タイトル	出版社	概要
2	有川浩	2006	2002-2006	図書館	図書館戦争	メディアワークス	正義の味方、図書館を駆ける!-公序良俗を
3	紺野キリフキ	2008	2007-2011	図書館	ツクツク図書館	メディアファクトリー	つまらない本しか置いてない、ツクツク
4	端島凜	2017	2017-2021	図書館	図書館は、いつも静かに騒がしい	三交社	楽しくってほろりとする、図書館人情奮
5	櫻井とりお	2019	2017-2021	図書館	虹いろ図書館のへびおとこ	河出書房新社	いじめがきっかけで学校に行けなくなっ
6	中島京子	2019	2017-2021	図書館	夢見る帝国図書館	文藝春秋	「図書館が主人公の小説を書いてみるっ
7	緑川聖司	2003	2002-2006	図書館	晴れた日は図書館へ行こう	小峰書店	本と図書館が大好きな女の子が、図書館で
8	岡本七緒	2021	2017-2021	図書館	私立図書館・黄昏堂の奇跡：持ち出し禁止の名	宝島社	総応募数10,332作品!第8回ネット小説大賞
9	紅玉いづき	2012	2012-2016	図書館	サエズリ図書館のワルツさん	星海社	さえずり町のサエズリ図書館。それは本
10	高田大介	2013	2012-2016	図書館	図書館の魔女	講談社	史上最古の図書館に暮らす「魔女」に使
11	瀬尾まいこ	2003	2002-2006	図書館	図書館の神様	マガジンハウス	思い描いていた未来をあきらめて赴任し
12	柏葉幸子 山本容子 (絵)	2010	2007-2011	図書館	つづきの図書館	講談社	「本をさがすんですね」「いやいや。本
13	高森美由紀	2017	2017-2021	図書館	みさと町立図書館分館	産業編集センター	正直、ままならないことだらけの図書館
14	青崎有吾	2016	2012-2016	図書館	図書館の殺人	東京創元社	山蔵県内で交番連続放火事件が発生。山
15	三萩せんや	2016	2012-2016	図書館	図書館ホスピタル=TOSHOKAN HOSPITAL	河出書房新社	元気だけがとりえの悦子が就職した、不

【図2】収集作品リスト（一部）

⇒ 収集した作品について、Excel（スプレッドシート）を用いて情報を付与・整理

【収集作品リスト】（2023.11.01時点）

[りっとけん作品分析【総合（リスト）】決定版.xlsx](#)

# 調査

## 分析と考察

1



## 2、収集作品リストを用いた分析・考察 1

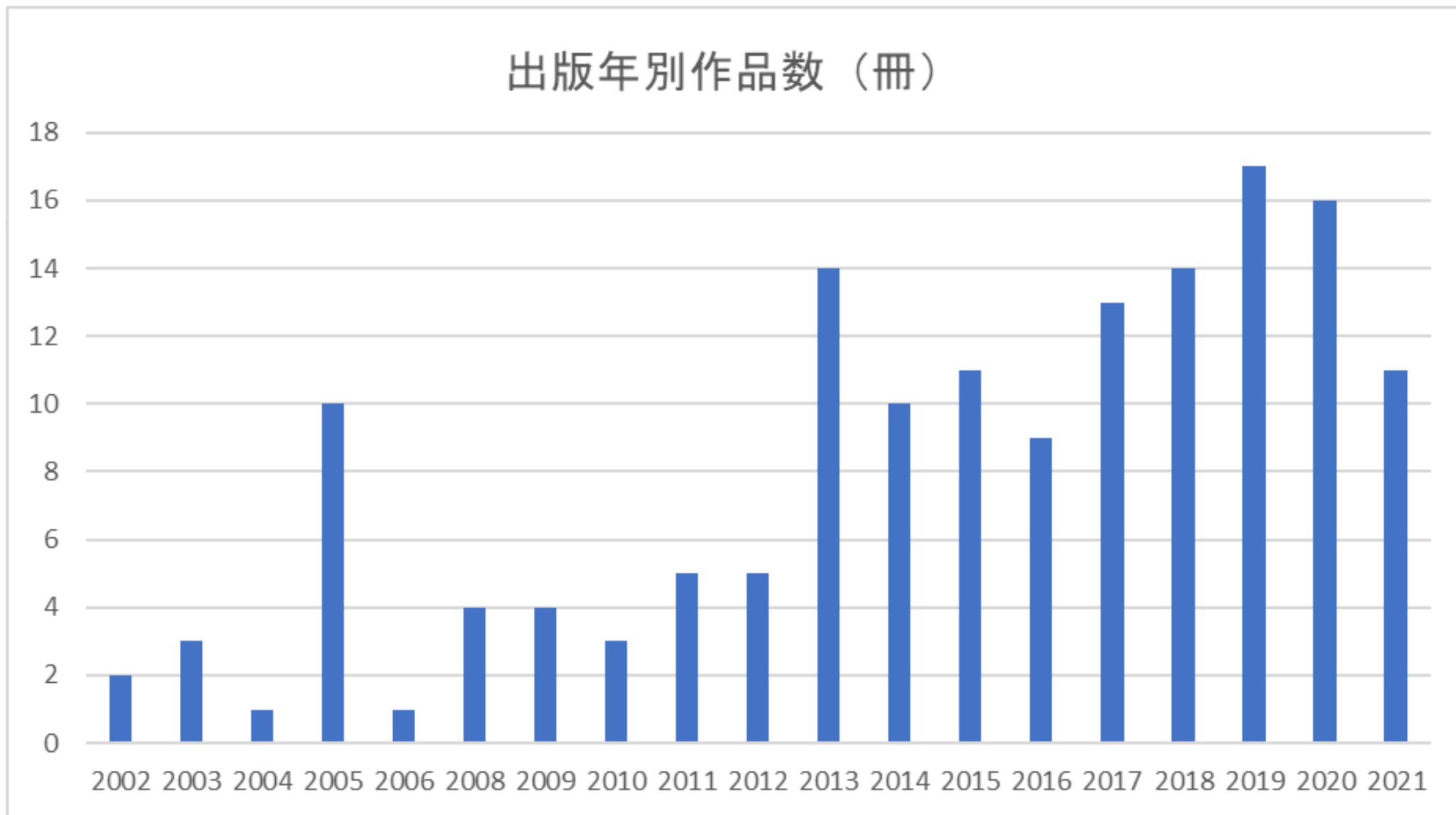
### ① 出版年別作品数

#### 【特徴】

- ・ 2005年に特徴的な増加がみられる
- ・ 2013年以降、平均的に二桁数の作品が断続的に出版され、増加傾向にある
- ・ 2019年をピークとし、2020年から作品数が減少に転じる

出版年	度数
2002	2
2003	3
2004	1
2005	10
2006	1
2008	4
2009	4
2010	3
2011	5
2012	5
2013	14
2014	10
2015	11
2016	9
2017	13
2018	14
2019	17
2020	16
2021	11
総計	153

【表2】出版年別  
作品数



【图 3】出版年別作品数

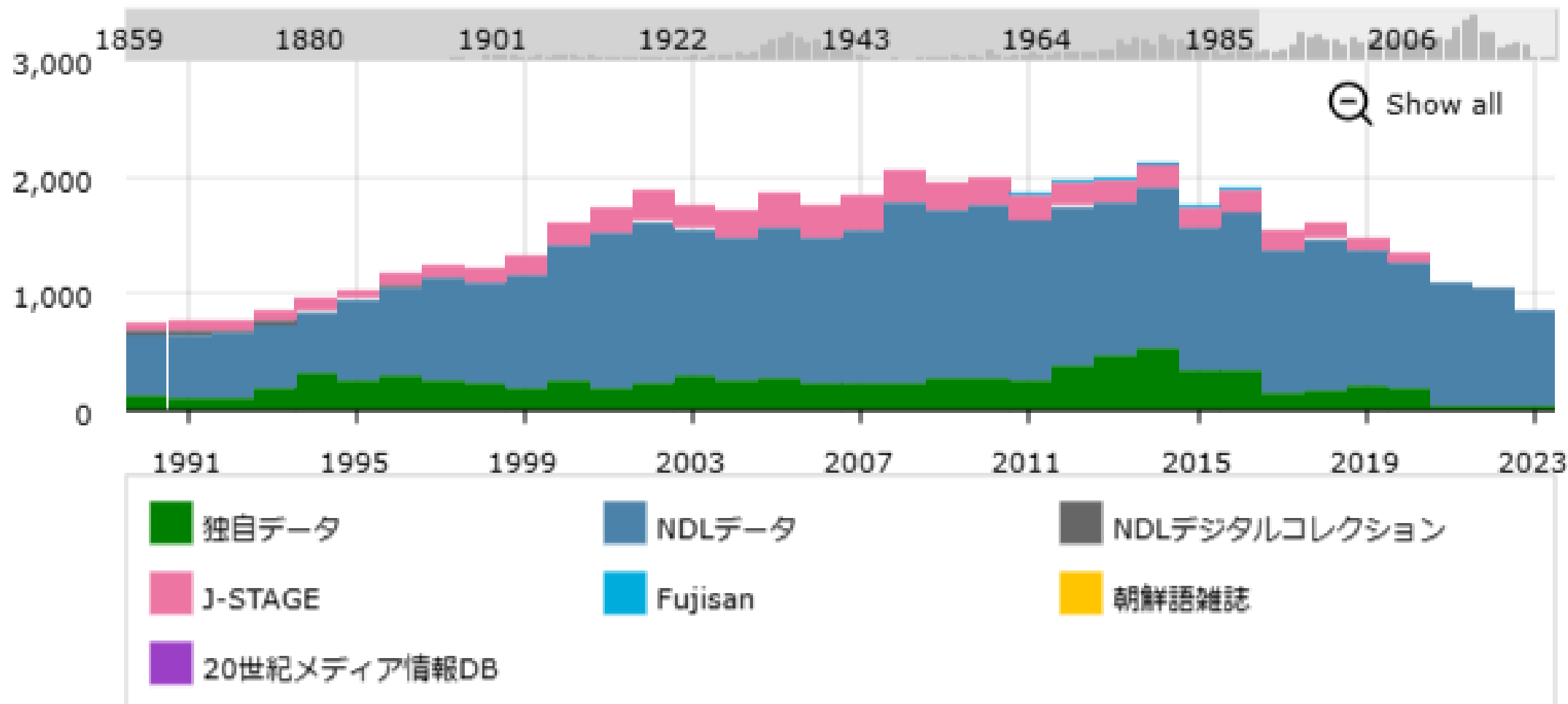
# 作品数増加の背景には？

---

## 【資料】

学術的背景＝関連・研究記事数

→ 『雑誌記事索引データベース（ざっさくプラス）』における「図書館」関連記事数



【図4】簡易検索：「図書館」関連記事数（「ざっさくプラス」より）

## ① 出版年別作品数

---

### 【特徴・考察】

- ・ 【図4】から、2000年以降、その記事数が徐々に増加する
- ・ 【図3】における作品数は2013年以降その数が全体的に増加するが、【図4】の雑誌記事は2000～2016年の期間における総対数が多い

⇒ 2000年以降より図書館や図書館関連分野についての学術的研究、そして社会的な注目と理解が急速に進展している。その背景としては子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法、学校教育における探究学習の推進、図書館数の増加、新しいスタイルの図書館の登場などがあると思われる。こうしたことが関連作品の増加にも寄与したのではないか。

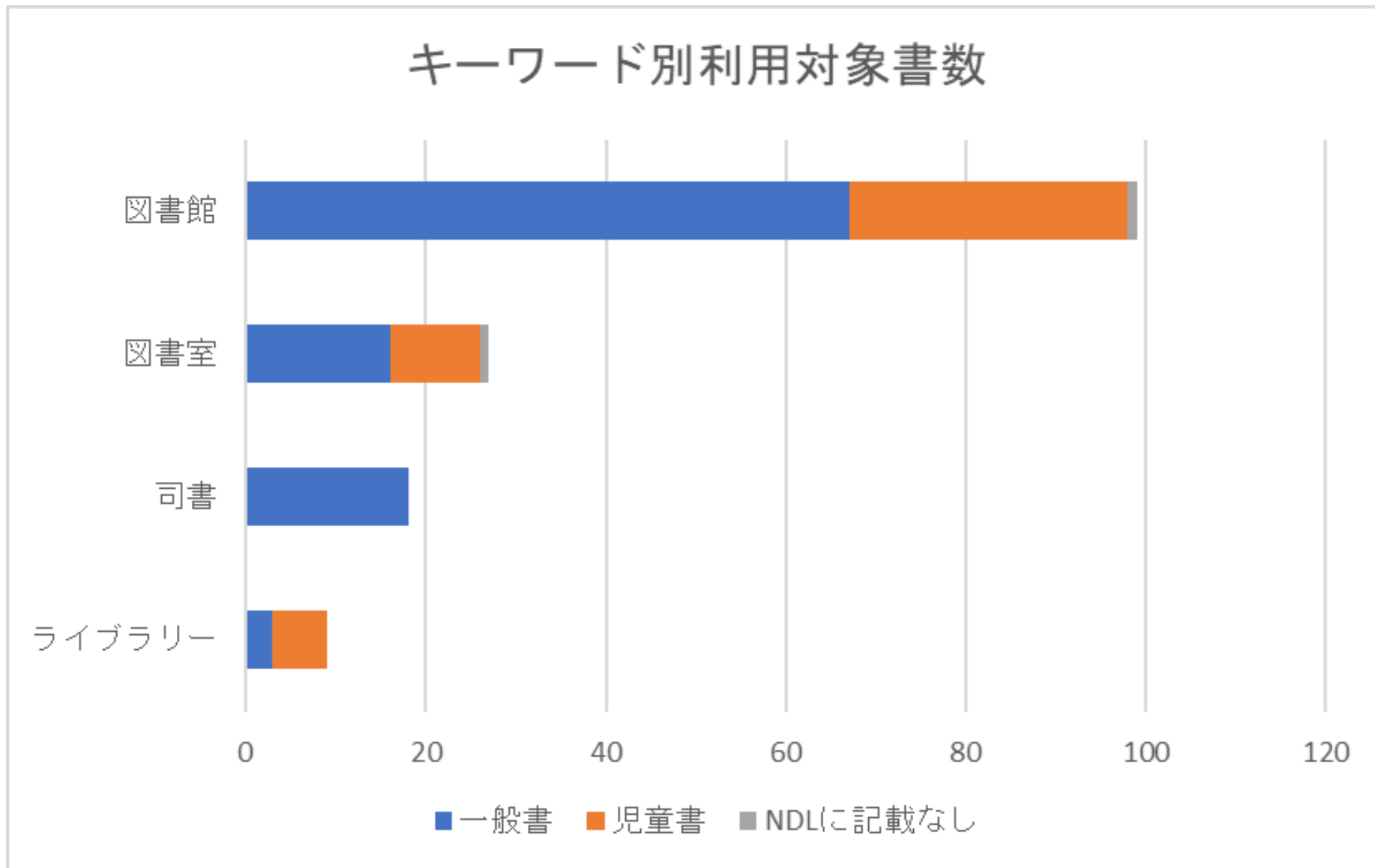
## 2、収集作品リストを用いた分析・考察 1

### ② 検索キーワード別利用対象書数

	一般書	児童書	NDLに記載なし	総計
図書館	67	31	1	99
図書室	16	10	1	27
司書	18			18
ライブラリー	3	6		9
総計	104	47	2	153

【表 3】 検索キーワード別利用対象書数





【図5】 検索キーワード別利用対象書数

## ② 検索キーワード別利用対象書数

---

### 【特徴・考察】

- ・【表3】より、総数に対して「図書館」を冠する作品が7割近くを占める
- ・【図5】より、児童書に注目すると「図書室」を冠する作品の割合が大きい
- ・【表3】【図5】より、  
「司書」を冠する作品には児童書に該当する作品が見受けられない

⇒

児童書において、より身近な施設として「図書室」を題材とした作品が描かれやすい傾向がある一方で、児童書の読み手となる世代における「司書」についての認識や理解は停滞しているのではないか

# 調査

## 分析と考察

2



# 3, 収集作品リストを用いた分析・考察 2

## ①内容・使用サイト

---

### 【内容】

収集した作品リストにおける「タイトル」と「概要（あらすじ）」を対象として、『AIテキストマイニング』を用いて、語句的分析を行う。

### 【使用サイト】



ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

## ②事前処理

---

作成した作品リストにおいて「タイトル」と「概要（あらすじ）」のみを抽出したリストを新たに作成

※ 語としての分析のため、一部図書館関連以外の要素を含む作品も該当

※ シリーズはタイトル詳細が異なる場合別記で追加

[例] 【一冊目のみ】 『〇〇の図書館 1』

『〇〇の図書館 2』 ... (以下、数字のみ変化)

【別記で追加】 『〇〇の図書館と謎の勇者』

『〇〇の図書館と未知なる世界』 ...

※ 調査では、分析時にキーワード（図書館・図書室・司書・ライブラリー）を除外

1	タイトル
2	図書館戦争
3	ツクツク図書館
4	図書館は、いつも静かに騒がしい
5	虹いろ図書館のへびおとこ
6	夢見る帝国図書館
7	晴れた日は図書館へ行こう
8	私立図書館・黄昏堂の奇跡：持ち出し禁止の名もなき奇書たち
9	サエズリ図書館のワルツさん
10	おさがしの本は
11	図書館の魔女
12	図書館の神様

1	概要
2	正義の味方、図書館を駆ける!-公序良俗を乱し人権を侵害する表現を
3	つまらない本しか置いてない、ツクツク図書館。職員も建物もへんで 楽しくってほろりとする、図書館人情奮闘記 就職活動で挫折し、半年間ひきこもっていた23歳の菅原麻衣。偶然見 書館の求人に応募したところ、あっさり採用される。いざ出勤して
4	したくないと泣きじゃくる女性や何でもミステリーにしたがる男性、 いじめがきっかけで学校に行けなくなった、小学6年生の火村ほのか。 たどり着いたおんぼろ図書館でみどり色の司書、謎の少年、 そしてたくさんの本に出会い、ほのかの世界は少しずつ動き出す!
5	図書館があなたのところを彩る感動の物語。
6	「図書館が主人公の小説を書いてみるっていうのはどう?」作家のく
7	本と図書館が大好きな女の子が、図書館で出会う人々との交流や、図書館 総応募数10,332作品!第8回ネット小説大賞受賞作!
	地下書庫に眠るのは禁帯出、閲覧禁止。異界への扉を開く本。名もなき手記に宿る想いは、時空を超えた事件の“鍵”となる。今、壮大に描かれるビブリオファンタジー!

## 【タイトル】

[りっとけん作品研究【総合】【KHコーダー用・タイトル】【完全版】.xlsx](#)

## 【概要（あらすじ）】

[りっとけん作品研究【総合】【KHコーダー用・概要】【完全版】.xlsx](#)

### ③ 分析結果・考察

---

収集作品リストにおけるAIテキストマイニングを用いた調査では、

- ・ ワードクラウド（〔スコア〕〔出現頻度〕別）
- ・ 単語出現頻度（〔名詞〕〔動詞〕〔形容詞〕〔感動詞〕別）
- ・ 共起キーワード
- ・ 2次元マップ
- ・ 係り受け解析
- ・ 階層的クラスタリング

のそれぞれが提示される。今回はその中でも上位4つについて、特に提示する。

## 【分析結果】

---

「タイトル」「概要（あらすじ）」におけるAIテキストマイニングを用いた解析結果の全体は以下ページを参照

- ・ 収集作品リストをAIテキストマイニングにて解析

「タイトル」

〈<https://textmining.userlocal.jp/results/b4auuV4NDYxc4QVSDTtSFCZYa2PMaC3G>〉

「概要（あらすじ）」

〈<https://textmining.userlocal.jp/results/jn1iXRkkJygxUGQYkQMowQAqZMQcJaa4>〉



# 1.ワードクラウド

---

スコア【※】が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示している。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。以下では [スコア順] と [出現頻度順] を分けて、その両方を掲載する。

(ユーザーローカルAIテキストマイニング)

(<https://textmining.userlocal.jp/results/5yEWN9FXdxm78mhD5pekWZjru5qWkwU>) より説明文を一部編集)

【※】 「スコア」の詳細については、以下ページ参照

[AIテキストマイニング by ユーザーローカル \(userlocal.jp\)](https://textmining.userlocal.jp/)



[ワードクラウド・出現頻度順]



【図7】 「タイトル」における頻出頻度順ワードクラウド

## 2.単語出現頻度

---

文章中に出現する単語の頻出度を表にしている。また、単語ごとに表示されている「スコア」の大きさは、与えられた文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表している。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」など、どの文書にもよく現れる単語についてはスコアが低めになる。

(ユーザーローカルAIテキストマイニング

〈<https://textmining.userlocal.jp/results/5yEWN9FXdxm78mhD5pekWZjru5qWkwU>〉より説明文を一部編集)

結果はそれぞれ [名詞] [動詞] [形容詞] [感動詞] の4種類で提示する。

# 【タイトル】

[単語出現頻度／名詞] (出現頻度 4 以上) を抜粋

名詞	スコア	出現頻度
図書	107.58	29
戦う司書	97.33	9
library	47.48	6
ひみつ	15.54	6
海	1.03	6
謎	0.45	6
世々	49.84	5
怪談	9.86	5
きつね	8.61	5
放課後	4.63	5
デート	0.73	5
本	0.30	5
王立	24.32	4
絶叫	2.81	4
秘密	1.65	4
魔	1.01	4
王子	1.00	4

【図8】 「タイトル」における  
名詞単語出現頻度

[単語出現頻度／動詞] (出現頻度2以上) を抜粋

動詞	スコア	出現頻度
書き下ろす	3.74	3
恋する	2.48	3
つづく	1.77	3
めぐる	0.63	2
むく	0.38	2
ゆる	0.24	2
ゆく	0.16	2

【図9】「タイトル」における動詞単語出現頻度

[単語出現頻度／形容詞]

形容詞		スコア	出現頻度
幽い	🔍	0.59	1
騒がしい	🔍	0.25	1
からい	🔍	0.06	1
短い	🔍	0.03	1
甘い	🔍	0.02	1
優しい	🔍	0.01	1

【図10】「タイトル」における形容詞単語出現頻度

[単語出現頻度／感動詞]

感動詞		スコア	出現頻度
ようこそ	🔍	4.07	5
ども	🔍	0.58	1

【図11】「タイトル」における感動詞単語出現頻度

### 3. 共起【※】 キーワード

---

文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図である。

出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画される。

(ユーザーローカルAIテキストマイニング

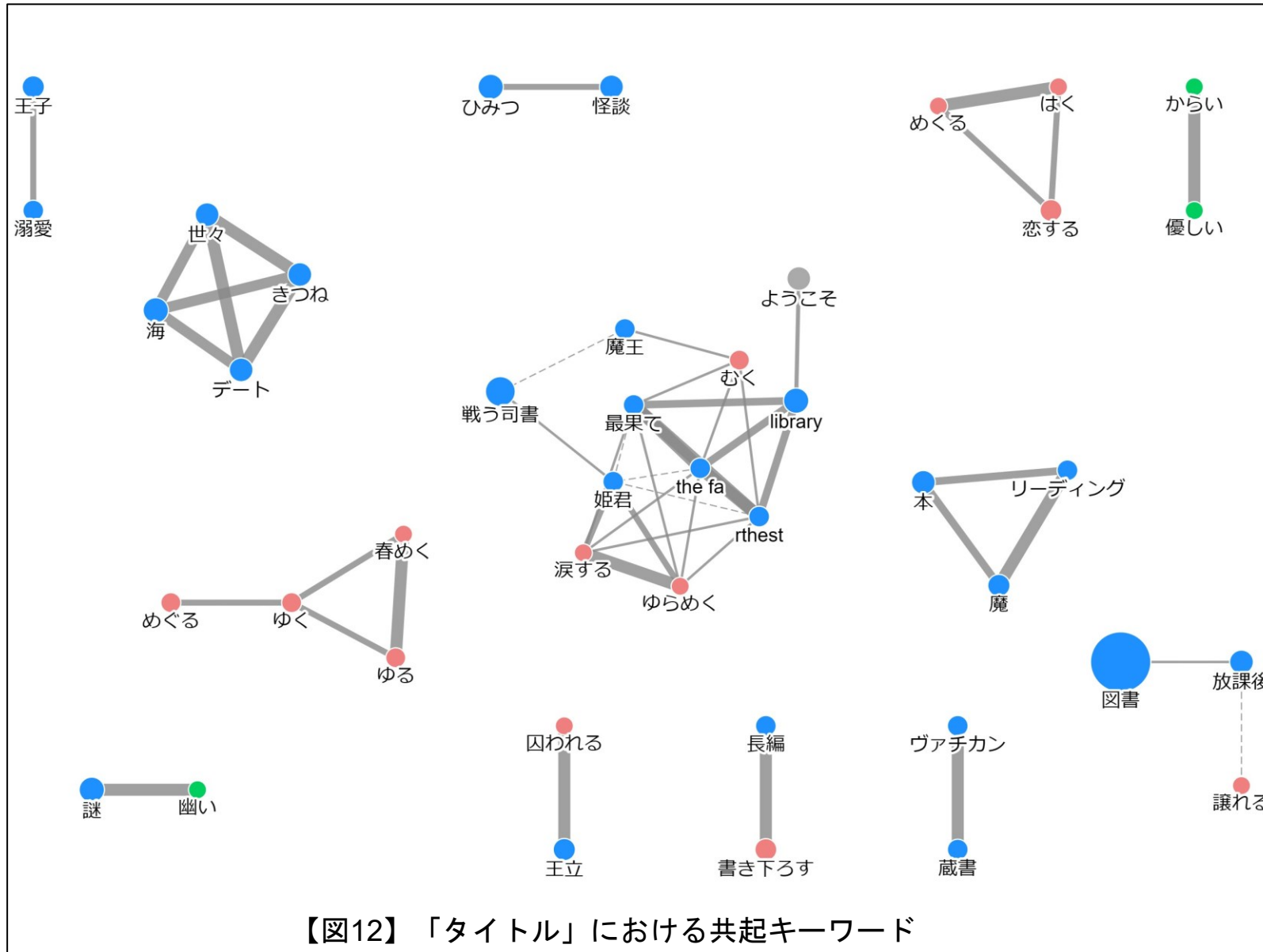
〈<https://textmining.userlocal.jp/results/5yEWN9FXdxm78mhD5pekWZjru5qWkwU>〉より説明文を一部編集)

【※】 「共起」については、以下ページ参照

[AIテキストマイニング by ユーザーローカル \(userlocal.jp\)](https://textmining.userlocal.jp/)



# 【タイトル】の共起キーワード



【図12】 「タイトル」における共起キーワード

## 4. 2次元マップ

---

文章中での出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く配置されている。距離が近い単語はグループにまとめ、色分けしている。

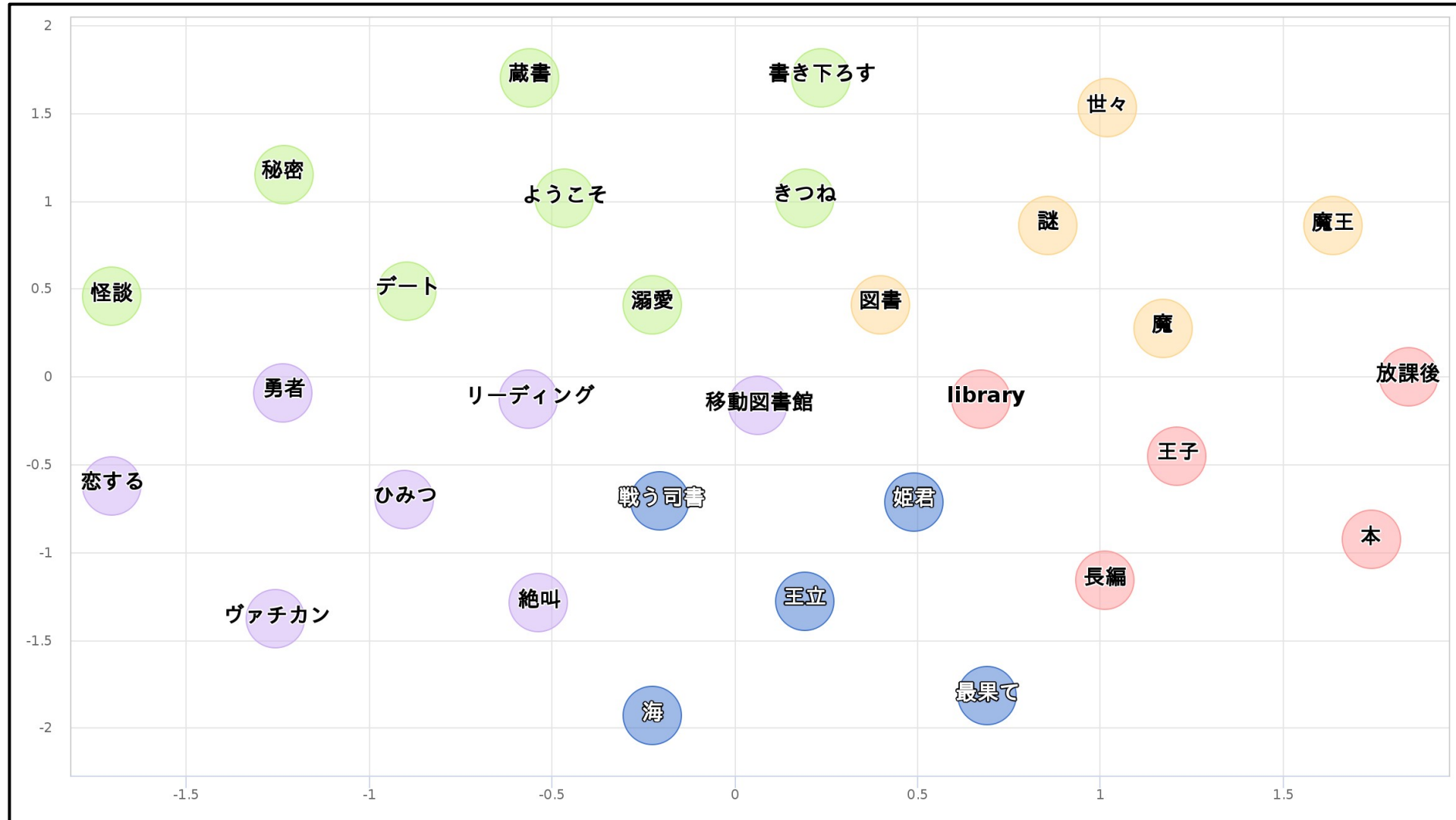
(ユーザーローカルAIテキストマイニング

〈<https://textmining.userlocal.jp/results/5yEWN9FXdxm78mhD5pekWZjru5qWkwU>〉より説明文を一部編集)

2次元マップにおけるグラフの詳細は、以下ページ参照

[AIテキストマイニング by ユーザーローカル \(userlocal.jp\)](#)

# 【タイトル】の2次元マップ



【図13】「タイトル」における2次元マップ

## 【考察】：「タイトル」

---

### (1) ワードクラウド

- ・恋愛に関する語彙と結びつきやすい 例：「恋する」「デート」
- ・ミステリアスな印象の語彙 例：「ひみつ」「秘密」「謎」

### (2) 単語出現頻度

- ・「図書」 一出現頻度、スコアがともに高い
- ・「戦う司書」一出現頻度に比べてスコアがかなり高い（「図書」のスコアと近い）

### (3) 共起キーワード

- ・遅い時間帯と結びつきやすい 例：「図書」⇔「放課後」

### (4) 2次元マップ

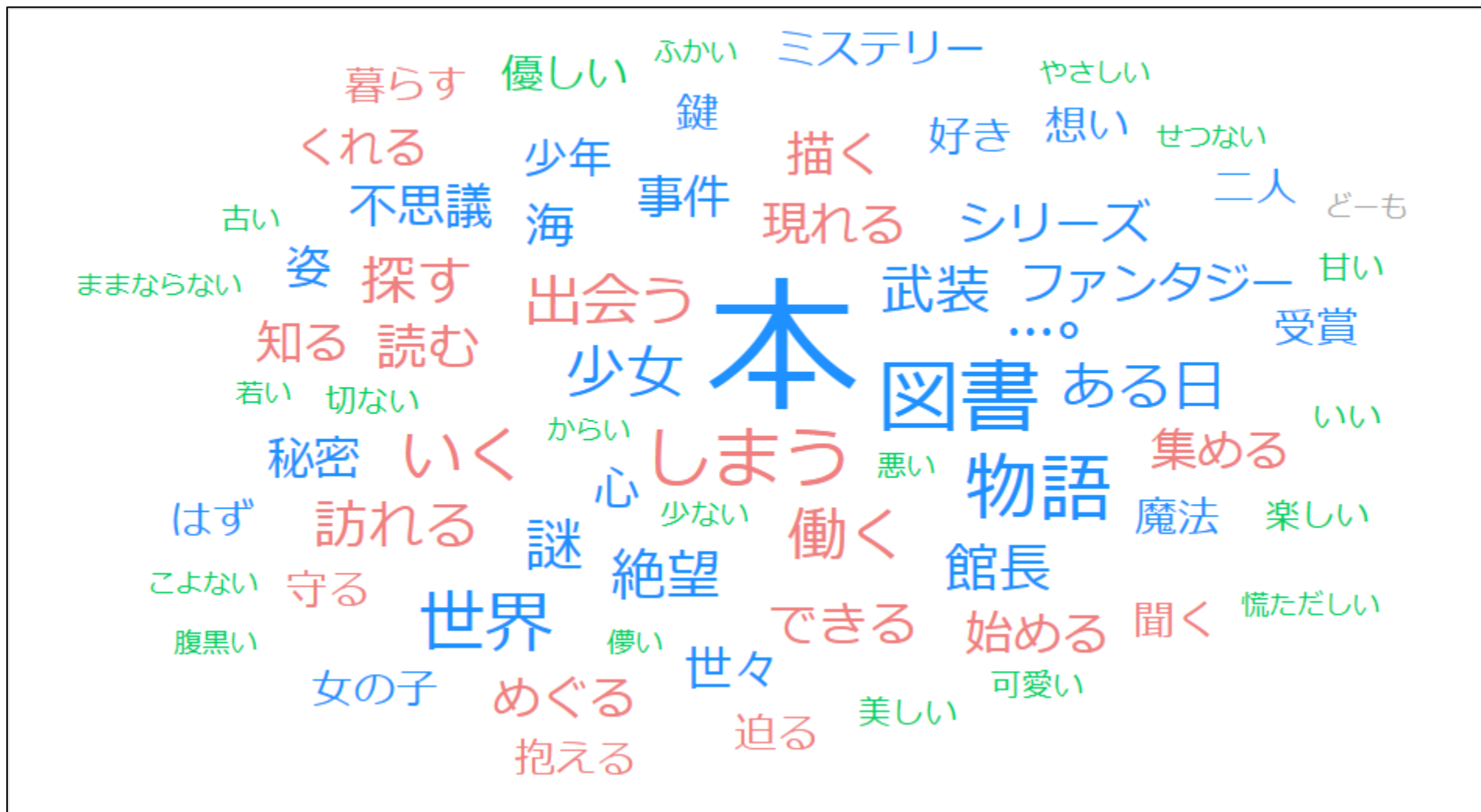
- ・王室制度的な語彙がグループに分散している 例：「王立」「姫君」「王子」

※「戦う司書」「library」「世々」：同一作品タイトルの重複している語彙

「the fa」「rthest」（共起キーワード）＝the farthest



[ワードクラウド・出現頻度順]



【図15】「概要（あらすじ）」における出現頻度順ワードクラウド

# 【概要（あらすじ）】

2, [単語出現頻度／名詞]（出現頻度15以上）を抜粋

名詞	スコア	出現頻度
本	109.02	113
図書	205.08	47
物語	52.75	38
世界	8.64	31
…。	8.27	31
少女	32.57	23
謎	5.68	22
武装	54.81	19
ある日	29.96	19
絶望	12.34	19
館長	97.01	18
海	6.67	16
世々	173.27	15
不思議	5.83	15
シリーズ	5.36	15

【図15】「あらすじ（概要）」における  
名詞単語出現頻度

[単語出現頻度／動詞] (出現頻度10以上) を抜粋

動詞	スコア	出現頻度
しまう	1.23	28
いく	0.93	22
働く	4.74	19
出会う	8.74	17
訪れる	22.06	15
探す	1.47	15
読む	0.95	14
できる	0.21	13
めぐる	15.53	12
現れる	6.51	12
始める	0.77	12
描く	0.72	12
集める	2.59	11
知る	0.31	11
くれる	0.12	10

【図16】 「概要（あらすじ）」における  
動詞単語出現頻度



[単語出現頻度／形容詞] (出現頻度 3 以上) を抜粋

形容詞	スコア	出現頻度
優しい	0.76	9
楽しい	0.08	6
いい	0.03	6
美しい	0.62	5
甘い	0.41	5
切ない	0.93	4
可愛い	0.03	4
古い	0.43	3
少ない	0.11	3
悪い	0.03	3

【図17】 「概要（あらすじ）」における形容詞単語出現頻度

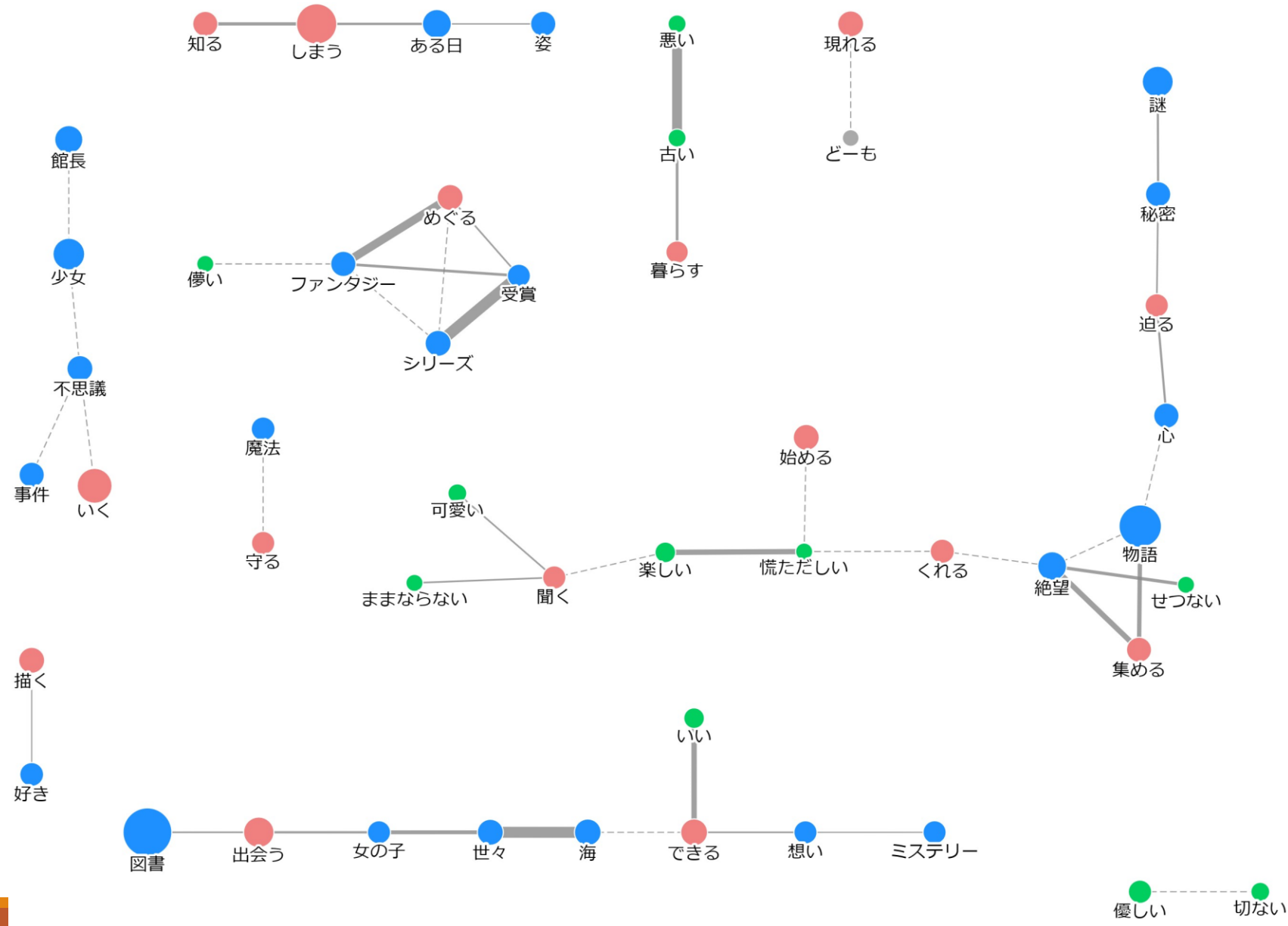
[単語出現頻度／感動詞]

感動詞	スコア	出現頻度
どーも	1.98	2
---	---	---

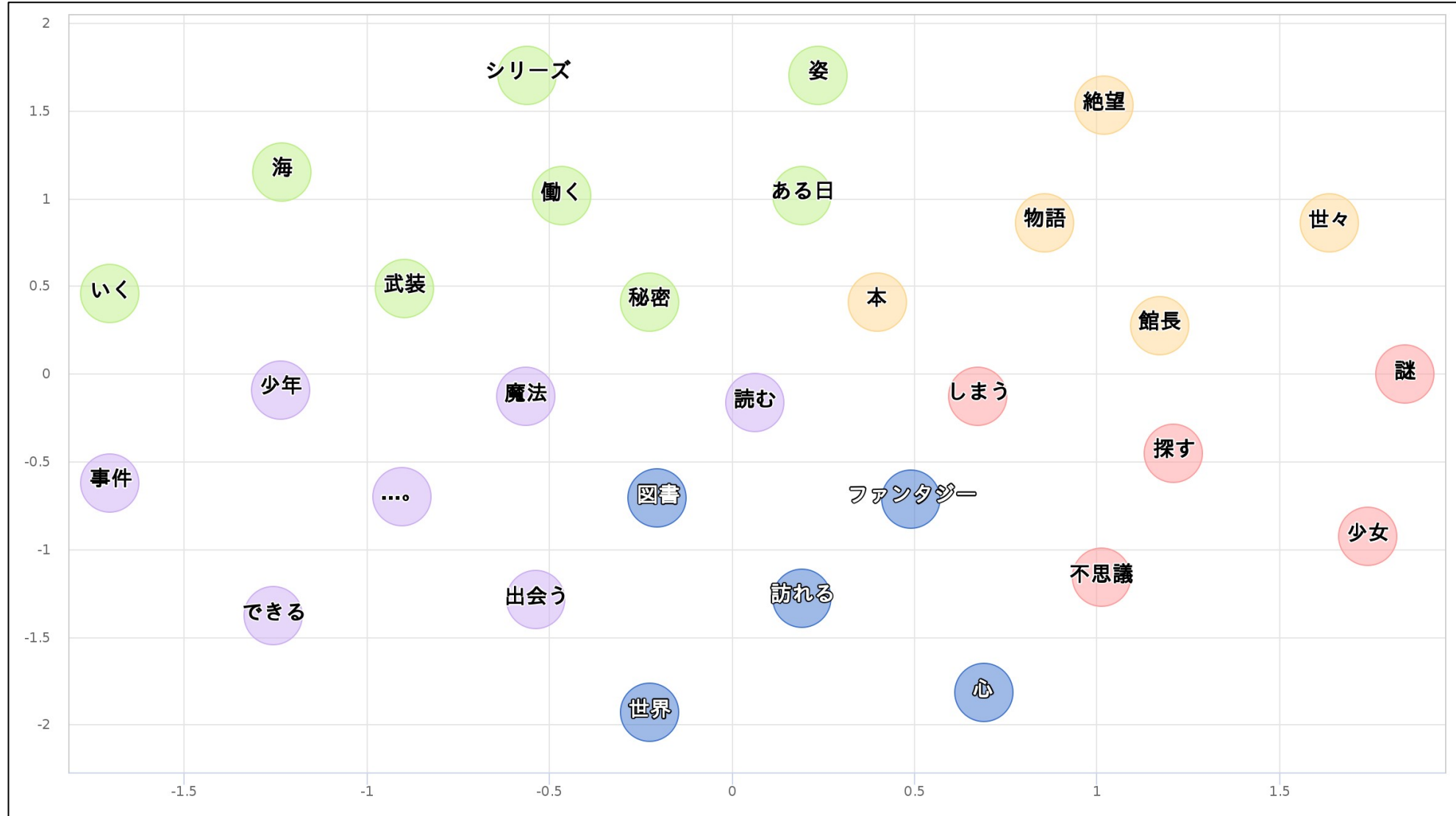
【図18】 「概要（あらすじ）」における感動詞単語出現頻度

# 【概要（あらすじ）】の共起キーワード

【図19】「概要（あらすじ）」における共起キーワード



# 【概要（あらすじ）】の2次元マップ



【図20】「概要（あらすじ）」における2次元マップ

## 【考察】：「概要（あらすじ）」

---

### (1) ワードクラウド

- ・「訪れる」「出会う」「現れる」などの特定の空間を内外から出入りするような意味を持つ動詞が見受けられる。

### (2) 単語出現頻度

- ・「訪れる」「めぐる」「出会う」－出現頻度、スコアが高い
- ・「本」－「図書」の半分のスコアだが、出現頻は「図書」の2倍以上で最高値

### (3) 共起キーワード

- ・出現する語やその共起関係に「タイトル」の分析結果とは異なる多様性が見受けられる。

### (4) 2次元マップ

- ・「少年」は「魔法」や「事件」と、「少女」は「謎」や「不思議」にグループ分けされている。

# 課題



# 課題

---

## 1, 収集作品の漏れ

- ・ 「タイトル」における検索キーワードの該当が収集基準
  - ⇒ 図書館関連要素を含むが、タイトルに検索キーワードが該当していない作品が収集できていない（【例】「本と鍵の季節」（2018）「おさがしの本は」（2009）など）
- ・ 検索キーワードの種類不足や表記のゆれ
  - ⇒ 「としょかん（ひらがな）」や「library（英語）」、「ライブラリ」など設定する検索キーワードにおいて収集不足の作品の存在が想定される
- ・ 年代
  - ⇒ 2002年以前、2021年以降の作品は今回収集しなかった

# 課題

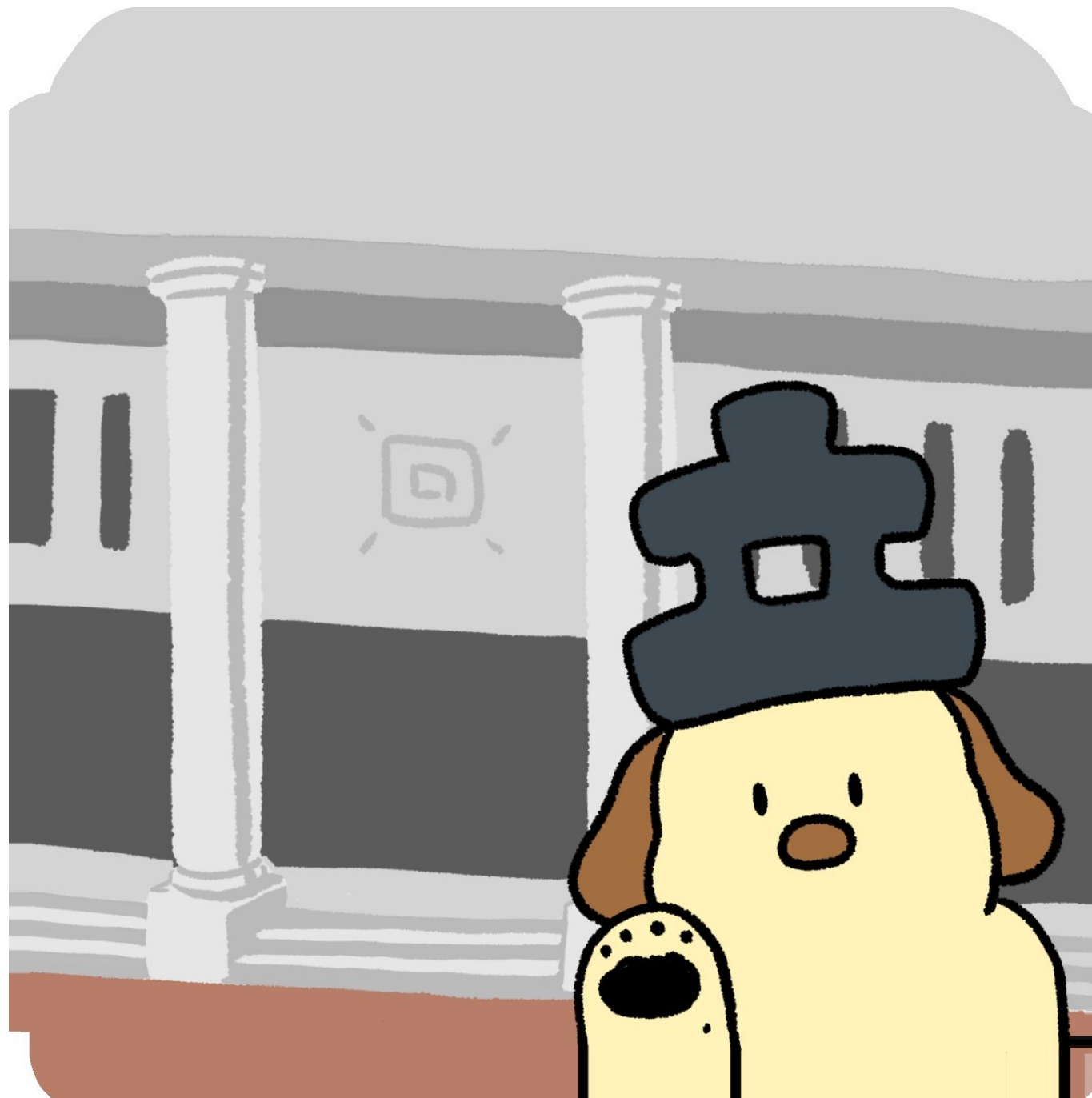
---

## 2, シリーズ作品の扱い

- ・ 収集作品数の規模  
⇒153作品に限定される
- ・ シリーズ作品では重複した語句が複数回出現  
⇒AIテキストマイニング解析結果における偏りの原因に



# 振り返り





# 振り返り（感想） ①

---

・ 2013年の図書数が多いのは、恐らく「本好きの下克上」シリーズが始まった年でもあるので恐らくそれによる影響と考察する。「図書館」というテーマ自体よりもヒット作品が出現してから人気が出てきたなかかもしれないと考えた。

・ 概要に含まれる単語を分析したとき、「少女」や「女の子」といった女性を示す言葉が上位にあるの一方、「少年」「男の子」などの男性を示す言葉が少ないことが印象的に思った。図書館職員の男女比率を考えると、図書館は女性と結びつきやすいのかも思った。タイトルの分析は、同一シリーズの重複している部分が上位になっている可能性もあるため、収集作品を増やす・重複部分を除くなどの作業が必要かもしれないと思った。

# 振り返り（感想）②

---

・タイトルについて分析してみると、放課後や秘密、絶望や絶叫と言った単語が登場していることに目を引かれた。朝や昼などの単語がほとんどないことを踏まえると、図書館は放課後や夜に舞台となる、日常生活とは少し区別された世界として描かれる傾向にあるのではないかと思った。

その一方で、平仮名の「としょかん」をキーワードにしてNDLで検索してみると調査できていない本が出てきたことから、漢字だけに捉われるのではなく平仮名と漢字の組み合わせなどキーワード一つ考えるにしても様々な可能性を考慮しなければならないと感じた。また、図書と同じような意味を表す「書籍」という単語は、図書に比べて難しいイメージがあり、書籍をキーワードにしてみるとまた違う結果が出たりして面白いのではないかと思った。

# 振り返り（感想）③

---

- ・ 図書館をテーマにした小説を調べるにあたって、まず多くの作品が該当することに驚いた。本を書く人、本を読む人という関係が成立する際に図書館は自然な存在となるのではないかと思った。また調査の際、児童書が多数該当したのはひとつの特徴に感じた。子どもにとって身近で、作品に入り込みやすい存在としての「図書館」「図書室」が書き手に意識されているのだろうと思った。

- ・ 図書館を題材にした作品が近年においても多く、児童書から一般書まで幅広いテーマの物語の中に図書館が登場していることは意外だった。データを用いた小説の分析というアプローチは今まで聞いたことも行ったこともなく新鮮だった。

# 振り返り（感想）④

---

・タイトルをKHCoder※で分析すると、「LIBRARY」に「ようこそ」が共起しており、そこから「世界」や「移動」「謎」などの単語へとつながっていくことがわかる。このことから、図書館は「現実世界とは異なる世界への入り口」としての役割を物語上で果たしていると考えられる。

今後の課題としては、2001年以前のデータを収集し、今回の調査結果と比較することが挙げられないだろうか、2000年の「子ども読書年」を契機として、子どもの読書推進活動は盛んになったそう。とりわけ児童書に関しては2000年を境に変化が見られるのではないかと考える。

※KHcoderでの分析も一時試みましたが、AIテキストマイニングを採用しました。

# 振り返り（感想）⑤

---

・作品を収集し、その「タイトル」や「概要（あらすじ）」を用いたAIテキストマイニング分析の結果を参照して、「優しい」や「不思議」「謎」「ミステリー」「謎」など未知なものと出会う場や日常の中においても穏やかな図書館・図書室イメージが見受けられる一方で、「秘密」や「武装」など一般的なイメージとは対照的なイメージと捉えられるような激しさを背景に想定する語彙やキーワードが出現していた点が特徴的であると感じた。

また、今回の調査ではNDLサーチやブックログなどから引用した各作品の概要（あらすじ）を対象に調査・分析を実施し、その語彙的特徴からイメージなどに言及したが、図書館関連要素が含まれる作品の内容に注目し、そのジャンルなどに焦点を当てることにより「小説」という作品コンテンツの種類を超えた映画やアニメ、マンガなど他のメディア作品についてやそこに発生するメディアミックスにおける比較などを実施することもできるのではないかと感じた。

# 参考文献一覧

---

## 【閲覧・活用サイト】

言語資源開発センター「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) 概要」〈<https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj/index.html>〉 (2023/11/09 最終閲覧)

国立国会図書館「国立国会図書館サーチ」

〈<https://iss.ndl.go.jp/?type=psrch>〉 (2023/11/01 最終閲覧)

皓星社「雑誌記事索引データベース ざっさくプラス」

〈<https://zassaku-plus.com/info/index>〉 (2023/11/01 最終閲覧)

株式会社ユーザーローカル「テキストマイニングツール」

〈<https://textmining.userlocal.jp/>〉 (2023/11/06 最終閲覧)

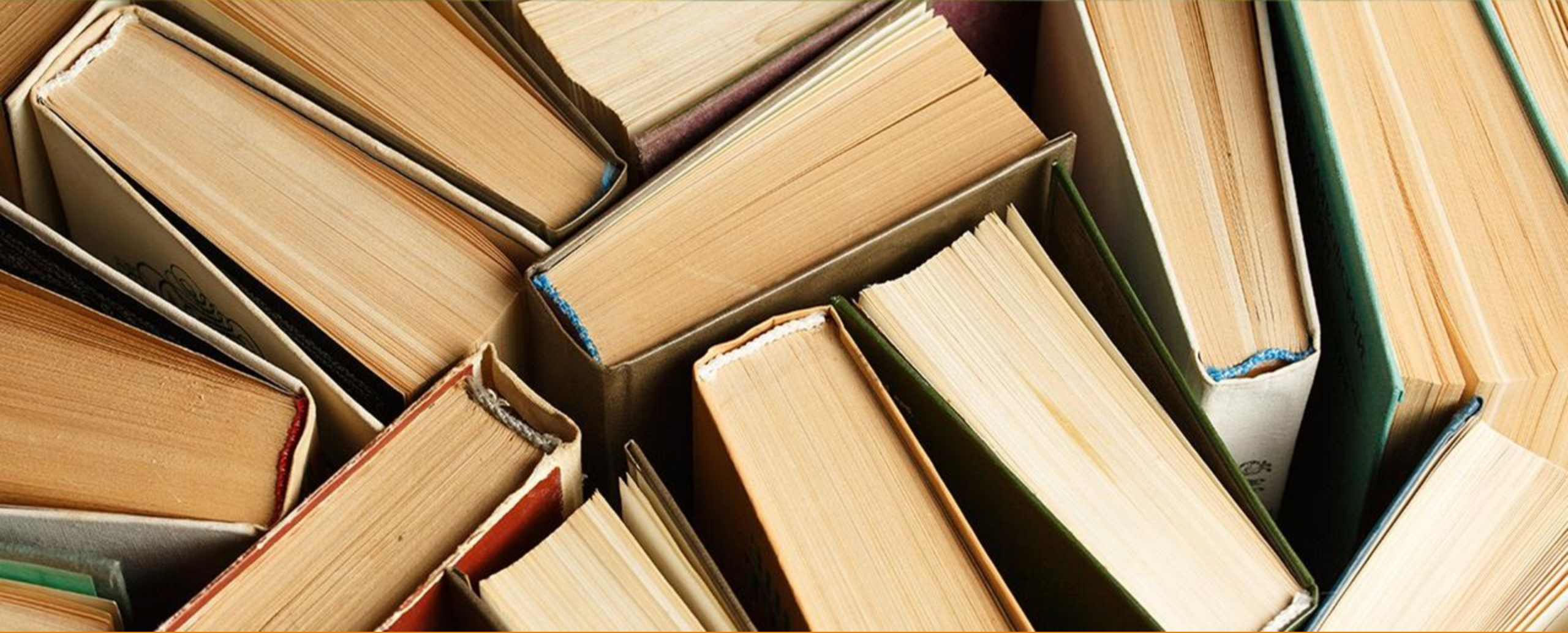
# 謝辞

---

- ・ 立命館大学日本語情報学専攻・図書館情報学ゼミ ゼミ生の皆様

（作品収集リスト作成過程において、

作品収集と情報入力・確認作業にご協力いただきました。）



最後までご覧いただき、誠にありがとうございました！

立命館大学図書館研究会（りっとけん） 一同